



西覚寺だより

第三十一号

永代経法要のご案内

日にち 四月 二十七日 (日)

● 午前の部 午前十時半 ～ 正午頃
● 午後の部 午後一時半～午後三時半頃

※「お齋」はありません。

● 内容 正信偈（行譜）六首引き

● ※行譜はいつもと違う特別な読み方
● 左側の指示に合わせて読みます
● 御法話

● 法話

橋本 健人 師
本願寺派布教使・三重県・若手

● 永代経法要とは

永代経懇志をお納めくださった方は進んでお参り下さい。

永代経法要とは、亡き人を偲びつつ、その亡き人やみなさんと縁あるお寺（西覚寺）の永代護持、そして、亡き人をお救いくださった阿弥陀様の教え、その教えの道場であるお寺（西覚寺）が、永代に渡り護持されることを願う法要です。

● 持ち物

お念珠、門徒式章（お持ちの方）、経本、御仏前（受付にお渡し下さい）

どなた様も、みなさま、

ぜひお参り下さい!!

謝意（その2）

昨年六月にご往生された方がいらっしやいます。その方から、生前あるお申し出がありました。

「私がなくなったら、財産の一部を西覚寺へ遺贈しようと思うけれど、構わないか？」

私は驚きとともに、そんなもったいないことはないとお断りしようと思ったのですが、気にしなくていい、僕がそうしたいんだと、話は進んでいきました。

何か思うところがあつたのでしようか。そのお手続きが終わったところから、いろいろとご病気を重ねていかれ、毎月の月参りも思うようにできなくなりました。お盆や奥様の御命日の際、お約束していた時間に伺ってもご不在で、後日入院していたとご連絡いただくことも増えました。なかなかお会いできない寂しさが積もっていく日々が続きました。

そのご家庭とは、私の先々代のころにご縁がありました。しばらく疎遠でした。私が住職になったころ、奥様が亡くなられたとご連絡があり、それから私が毎月お参りに伺うようになりました。はじめのころはその方の弟さんも一緒に参りしてくださいました。でも、ある月、お参りにみえないので、「おかしいね、お参り終わったら家に行ってみた方がいいよ、」私は冗談っぽくそんなことを言いました。お参りが終わった後、実際に弟さんのおうちに行かれてみたら、不慮の事故で亡くなられていました。ふたりで、どう受け止めたらいいかわからず、「何してんのよ」と弟さんに文句を言ってみたりもしました。それから、月参りの際のお供え物に、弟さんが好きだったビールが増えました。そのビールを必ず、「弟のこと思い出して飲んで」と、帰りに私に持たせてくださいました。

そんな思い出で十分なんです。ありがとうございます。そしてお疲れさまでした。御遺贈のご懇志、それこそ「永代経」の願いのもと、大切にお預かりいたします。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

初参式

西覚寺では、新年度が落ち着き、気候も暖かくなる6月に、『初参式並びに入学祝いの会』を開催しています。毎年、お子様お孫様を連れて、数組のご家族がご参加くださいます。みなさま、七五三などと同じひとつの節目、お祝いの行事として、ぜひご参加ください!!

▽開催日時
6月1日(日)

14時〜15時

▽定員 受式者(子ども)
12名まで

※同伴の大人は、ごども一人につき2名ほど

※要予約です!

▽参加費 2000円/名

▽場所 西覚寺本堂

▽記念品

参拝の記念に、小学生には門徒式章と子ども用の経本
未就学の子には、お念珠と子ども用の経本

▽予約方法
今月の西覚寺だよりに同封した申込書をFAXもしくは、直接お寺までお電話ください。



4月の子ども会は、花まつりでした

「花まつり」お釈迦様のお誕生(4月8日)をお祝いする行事で、昔はこのお寺でも開催されていましたが、ここもとは少なくなつたと聞きます。

今年、西覚寺では子ども会のひとつの行事として開催しました。7名の子どもたちが集まってくれました。

まずはみんなでお経のおつとめ。「らいはいのうた」というメロディーのついた短いお経で、ひらがな読めれば大丈夫☆

そのあと、みんなで、お釈迦様のお御堂を飾るための花飾りを作つて、それで自由に飾つてもらつて。

飾り付けができたら、お釈迦様に甘茶をかけてお祝いして。そのあとは、お下がりのお菓子を食べて、自由に遊んで。

お寺の本堂に子供たちの楽し気な声がわいわいと。

私が入寺して、ずっとやりたかつた子ども会。少しずつ形になってきた喜びも感じながら、お寺に子どもが響く尊さをあらためて感じました。



次回の子ども会の予定

- ★七夕かざりを作る会★
- ・日にち 7月23日(水)
- ・時間 午前9時〜正午過ぎ
- ・持ち物 お念珠 お経の本
こども式章
スタンブカード

・内容 ★七夕かざり★

安城七夕の大きな七夕かざりをみんなで作るよ。そのあとは、みんなで昼食安城駅前のパニーノさんのサンドウィッチ

※スタンブカードは、お渡し済みの方のみ。お持ちでない方には、ご参加の際にお渡しします。新しく参加されてみたい方は、お念珠のみで大丈夫です。お気軽にご参加ください。

◆ 住職の一言コーナー ◆

4月8日はお釈迦の誕生日、各地のお寺で「花まつり」が催されています。花まつりでは、お釈迦様のお像に甘茶をかけます。それは、お釈迦様がお生まれになったときに、甘露の雨が降ったことが由来だそうです。お釈迦様の御誕生を、この世界中が喜び、感動し、祝福されたのです。

よくよく考えてみますと、お釈迦様のような伝説的なエピソードはないにしても、私たちひとりひとりも、この世に生まれてくるとき、多くの人に「おめでとう」と祝福されてきたことと思います。もちろん、自身でその当時のことを覚えていない、なんてことは滅多にないと思います。でも、当時のことを知っている人の話を聞いた、記録(手紙や写真、映像など)が残っていたら、それに触れることで、自分がどのような願いや喜びの中、生まれてきたのかを知らされることはあるのではないのでしょうか。

そして、それはみな同じ。毎日の中ですれ違う人、仕事や学校の人の祝福の中に生まれてきたいのちなのではないでしょうか。



浄土真宗本願寺派
西覚寺

安城市朝日町12・8

☎ 0566・76・3594

http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/